

人と音を結び
Classic Nagoya
クラシック名古屋
〒460-0024
名古屋市中区正木四丁目8番7号れんが橋1F
TEL (052) 678-5310 FAX (052) 678-5330
https://clanago.com

プレイガイド
アイ・チケット
0570-00-5310

ナゴヤ劇場ジャーナル

◆発行/マネージメント・プロ ◆編集/プランニングオフィス白壁 ◆協賛/クラシック名古屋

MANAGEMENT PRO
①舞台イベントの企画制作・マネージメント
②芸術コンサルティング
③タレントのマネージメント
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行

株式会社 マネージメント・プロ
〒461-0004 名古屋市中区東区2-11-22 アバンティージビル301
TEL: 052-508-5095 FAX: 052-508-5097
E-mail: mane-pro@mane-pro.com
HP: http://www.mane-pro.com

6人に晴れの愛知県芸術文化選奨 ノヤママナコらに文化賞、衣斐愛らに新人賞

2024年度の愛知県
芸術文化選奨授賞式が3
月21日、愛知県庁で行わ
れた。受賞者は文化賞の



大村秀章知事を囲む受賞者ら。前列左端・河合勝、同右端・小林聡羅、後列左からノヤママナコ、衣斐愛、梅田智也、酒井智也(敬称略)

戦禍生き抜いた双子のドラマ 6月14、15日 シアターAoiで「悪童日記」



「悪童日記」(撮影・松本成弘)

5人の俳優が繰り広げるのは演劇!! ダンス!! それとも平和を願う愛のカタチ!!
メニコンシアターA O

iの芸術監督・山口茜の脚本・演出作品「悪童日記」(原作アグタ・クリストフ)が6月14、15日(両日とも午後1時開演)同

花柳朱実と野々村明子が共演 5日28日 ちくさ座で異色の「朱ざくら会」



花柳 朱実



野々村明子

日本舞踊の花柳朱実と現代舞踊の野々村明子が共演! 洋楽演奏家をまじえ、和洋折衷のスピー

シアターで上演される。2019年に初演、24年の再演で「第3回関西えんげき大賞優秀作品賞」と「第27回関西現代演劇俳優賞」を受賞した話題作である。
物語は、戦禍を生き抜いた双子の兄弟の日記をテキストに展開する。特徴的なのは、劇中に地名や人名などの固有名称が一切出てこないこと。俳優たちは双子の日記に書き込まれた戦争の狂気や、求め続けてきた人間

愛を全く新たな演劇スタイルで表出する。
出演は山口が主宰する「サファリ・P」の佐々木ヤス子ら5人。全自由席4000円、25歳以下1000円。TEL 052(938)7185。



衣斐 愛(能楽師)

愛は宝生流能楽シテ方の父・正宣に師事。5歳で初舞台を踏み、近年では「逢(あい)の会」を主宰する傍ら、能楽の枠を超え演劇分野にも進出。18年には名古屋



ノヤママナコ(舞台音響)

市芸術創造賞を、20年には名古屋市長賞を受賞している。
愛は宝生流能楽シテ方の父・正宣に師事。5歳で初舞台を踏み、近年では「逢(あい)の会」を主宰する傍ら、能楽の枠を超え演劇分野にも進出。18年には名古屋

文化賞の小林は87年カルロス・チャヴェス国際作曲コンクールで第1位。09年には愛知県立芸術大学音楽学部教授に就任。国際的な作曲家として新作を発表し続けている。
同じくノヤマは劇音楽の作曲、舞台音響のスペシャリストとして400作を超える作品をサポート。06年には名古屋市長賞を受賞。20年には名古屋市長賞を受賞している。

パリの歌姫、日本人盟友とエルムへ



オレリア・メイとピアニスト萩原えりこ

194 オレリア・メイ
「シャンソンの扉」

「オ・トワマイエ」では専属歌手を勤め、現在はクルーズレストラン「マキム・シユル・セーヌ」な

どで歌うオレリア・メイが、盟友のピアニスト萩原えりこと共にエルムに出演した。
「子供の頃はいつもラジオから流れる音楽に合わせて歌っていた」というオレリア。4歳でダンスを始め、その後演劇も学んだ。また同じ時期に音楽理論も勉強し、ピアニストを目指したという。

屋市芸術創造賞を受賞している。
同じく梅田は東京藝大大学院修了後、ウィーン国立音楽大学で研鑽。24、25年にはベートヴェンの半生を描いた「No.9」不滅の旋律」(4都市公演)にピアニストとして出演した。

《ピックアップ》
ノヤママナコ「有名な演出家や役者ではないが、スタッフの一人ではない自分が選出されたことに驚いています。近年は名古屋市内だけでなく、周辺都市の劇場で仕事を増やしています。そのあたりが評価さ

れたのではと思います。今回の受賞が「一緒に作品作りに励んだスタッフや劇団の皆さんへの恩返しになるのではと思います」
衣斐愛「逢の会では、紙芝居や体験実習を通して、楽しく能に接してもらえよう工夫しています。一昨年行った第8回

ダンスケイト (バレエ&ダンス用品) ~ 移転しました ~
オンライン
新住所 〒460-0008愛知県名古屋市中区東4-15-23 10階 (1015号) ★ライオンズマンションスズ屋公庫 10F
TEL 052(771)6166

「ヴァイオリン」、日舞の花柳和香、花柳貴人生ほか。朱実はソロで「カルメル」ハバネラ、ショパン「エオリアンハーブ」ほか。野々村はドビュッシー「月の光」をソロで、朱実とは「フーラス」(ハンガリー舞曲)を共演。大詰めには出演者全員(7人)で「ハチャトゥリアン」「仮面舞踏会」を披露する。日舞とモダン、スペシャリストの共演は興味津々。円形劇場ならではの斬新なパフォーマンスを期待したい。
全自由席3000円。TEL 052(771)6166。

基礎を見直して、今あるテクニックをより高度なものに!! 基礎レベルを上げていきましょう。
The Ballet Competition 21
スペシャル・ワークショップ
日付 2025年 5月25日(土)・6月22日(日) 会場 テアトル・ド・バレエカンパニー
講師 クラシック 塚本 洋子 コンテンポラリー 遠藤 康行
今後、新しい講師により毎月開催予定!
スケジュールが決まり次第、Instagram・ホームページ(https://www.ballet21.jp)などでお知らせいたします。
Instagram ホームページ
お問合わせ 「バレエコンペティション21」事務局 052-979-2030[平日11:00~17:00] ballet@ballet21.jp

名古屋市中東区上社3-1903
052-739-6155
OPEN 11:00-19:00(水曜日は17:00まで)
Enclair

「日本の風景や建築が好き。何より、萩原さんに出会い、一緒に歌うことができました。そして多くの音楽家たちも。みんなそれぞれ個性的で、日本人らしい少しシャイな所も大好きです」
今後も「やりたいことがたくさん」と話すオレリア。9月11~17日には、クルーズデザイナーや劇場コンサートを楽しめる羽田発着のパリ公演ツアーを開催するそう(聞き手・竹本真哉)

逢の会公演が名古屋市民から、歌手になれたと思うと振り返る。
自身のステージは「心から歌い、ユーモアや優しさを通して、人々と何か特別なものを共有します。言葉の壁があっても視線など様々なものを用いて自分の感情を伝えたい」と話す。
初来日は2020年。

全国バレエコンクールin Nagoya
プレコンクール2025

日程：2025年8月14日(木)

会場：アマノ芸術創造センター名古屋
(名古屋芸術創造センター)小学生から大人の方まで、レベルや年齢・経験を問わず
どなたでも幅広く初心者から参加できます。出演者の成長を応援するコンクールです。
※プレコンクール2025、第35回全国バレエコンクールin Nagoyaの両方に複数部門でお申し込みいただけます。

出場者募集!!

【応募期間】

4/4(金)～6/20(金)

第35回全国バレエコンクール
in Nagoya審査員はすべて
外国人著名バレエ芸術家

日程：2025年8月15日(金)・16日(土)・17日(日)

会場：アマノ芸術創造センター名古屋
(名古屋芸術創造センター)★8月14日(木)に
審査員による特別ワークショップを開催致します。
※コンクールに出場されない方も受講できます。

出場者募集!!

【応募期間】

4/4(金)～6/30(月)

ジュニアA-1(バレエシューズ)(小学1年生～4年生)
ジュニアA-2(トゥシューズ)(小学4年生～6年生)
ジュニアB(中学生)
ジュニアC(高校生)
シニア(40歳まで)

※開催時の学年・年齢

ジュニアA(小学生～中学2年生)
ジュニアB(中学3年生～高校3年生)
シニア(40歳まで)

※開催時の学年・年齢

・出場者全員に賞状を授与します。・海外バレエ学校への留学、海外バレエ団への研修制度あり。

・申込書はホームページよりダウンロードできます。

(主催)

全国バレエコンクール in Nagoya 事務局

(CJB中部日本バレエ団)

TEL052-481-5017 FAX052-481-4388

〒453-0018 名古屋市中村区佐古前町16-41

全国バレエコンクール in Nagoya

検索

<http://www.zenkokuballetcon.com>

渚本晴都子

日本屈指のソプラノ、東京藝大・名古屋音大ほかで後進の指導にも余念のない森谷真理が5月31日(午後2時)宗次ホールでリサイタル「ハローウィー・愛と死の歌」を歌う。演奏は北川美晃

ソプラノ森谷真理
5月31日 宗次Hで
歌曲「愛と死の歌」

森谷 真理

渚本晴都子、和と洋のリサイタル
5月30日 電気文化で「やすらぎの中に」

シンガーで日舞、演劇にも精通する渚本晴都子が5月30日(午後2時)電気文化会館でリサイタル「やすらぎの中に」を開く。第一部「歌と踊りのハローウィー」は日本舞踊・内田るり千鶴との共演で「宵待ち草」相川おけさ「空き家の風鈴」ほかを披露。第二部「歌と芝居のハローウィー」ではシャンソン歌手・阿部純子、ダンサーの落合健史とともに世界のポップスを歌う。演奏は北川美晃

ンセサイザー)。全自由席5000円。TEL052(9337)4889

舞台批評

「show wa!」

昭和文文化小劇場が、鹿目由紀(脚本・演出)、井原義則(歌唱指導)、小川典子(舞踊指導・振付)とともに運営している子どもミュージカル劇団「show wa!」が第8回公演「夏の夜の夢」を開く。フランスの作曲家オリヴィエ・メシアンが1945年に発表したソプラノとピアノのための全12曲・60分の大作歌曲。デビュー以来、オペラに精力を注いできた森谷が、歌曲の新たな世界観に挑戦する斬新なステージ。ピアノはフランス音楽にも造詣の深い山田武彦が務める。

鹿目版「シェイクスピア」に挑戦



「夏の夜の夢」はもうろく

んシェイクスピアの傑作だが、鹿目は原作のニュアンスを保ちながらも大胆なアレンジを加えた。まず作者であるシェイクスピアが主役として登場し、「悲劇を書くべきか、喜劇を書くべきか」

12団が古典、創作でカラーを競う



佐々智恵子バレエ団「二羽の鳩」(撮影・杉原一馬)

中部バレエフェス
日本バレエ協会中部支部が「第45回中部バレエフェスティバル」(3月26、27日・芸術創造センター)を開催。古典の抜粋や創作バレエなど、2日間12団が小品20作を上演した。初日はスター・カノン・アダー・オ(モーツァルト)「バレエアンティム」の「グラフ・ハピネス」佐々智恵子バレエ団の「二羽の鳩」が印象に残った。「アダー・オ」は今村早伽と高島康平がムードたっぷり、大胆なリフトもインパクトがあった。ピアソラのタンゴを使った「グラフ・ハピネス」はネコ(?)の衣装を着けた5人のアンサンブル

かと思ひ悩む。さらに劇中にはロミオとジュリエットまでもが登場し。出演した39人の子どもたちは、それなりに役を理解し、パズルを完成させている。劇場が地域と手を組み、健全な少年少女を育成する手本となる活動である。

「Wa!」の公演を見てきたが、会を重ねる度に、歌って語って踊ることがあたりまえに出来るようになってきた。講師陣、劇場スタッフの粘り強い指導の賜物である。

2日目は、川口節子バレエ団の「マカロニウエスタンズ」宮西圭子バレエ団の「アンブロンプチュ(即興曲)」と、幸田バレエ教室の「戦場のメリークリスマス」が印象に残った。

「マカロニ」はあふれる色彩・スピード感遊び心を交えた21人の群舞。他の2作はダンサーの美しさと気品にあふれた優雅な動きから情感がにじみ出た。

れた人はいないだろう。さて、あおきりの「気遣い狂時代」である。タイトルから察して、チャップリンの「黄金狂時代」(1925年公開)を連想した。いずれもドタバ喜劇であるが、さすがに時代の違いを感した。脚本に描かれているのは、まさに今現在の社会と日本人なのである。

二羽の鳩はジブシーの踊り」は18人のダンサーが美しくソツのないう動きで、大きく豊かな流れを創出した。しっかりと稽古を重ねたに違いない、非常に優れたステージ

「マカロニ」はあふれる色彩・スピード感遊び心を交えた21人の群舞。他の2作はダンサーの美しさと気品にあふれた優雅な動きから情感がにじみ出た。

政治家、リポーター、喫茶店主、手癖の悪いカメランら、13人の(私から見れば)若い俳優たちが「気遣い」をテーマにテンポ良くドラマを繰り広げる。俳優たちの技巧やテンションに大差がないのは、劇団公演の強みである。

あおきりみかん

喜劇で現代社会の「気遣い」描く



(撮影・サカイマサト)

鹿目由紀・作、演出「気遣い狂時代」

演出の「気遣い狂時代」(3月27、30日・愛知県芸術劇場小ホール)

である。「気遣い」というと、私はあの「安部さん」を連想する。近年、彼ほど周りに気遣いさ

でも、登場人物の心象を思わせ、リアリティが高まっていく好循環。小熊は、正解のない表現をすることへの躊躇や勇気など、俳優達に日々の練習で生まれる感覚を失わないように磨き上げたのだらう。他愛のないように耳に残る会話、美しい季節の空気感、戻らない時間の切なさなど、脚本に込められた魅力が見事に伝わる舞台だった。

7/3 17:30 開場/18:00 開演
指定席/6,500円 自由席/4,500円
木 千種文化小劇場

チケットは、出演者、エルム店頭、TIGETから購入頂けます。

主催 有限会社 吹上文化サロン
TEL 052-733-0085

名古屋巴里祭2025
ミッシェル・グラスコと共に

Michel Glasko
UNIVERSITY

出演者: Kuya, 宮西圭子, 佐々智恵子, 愛紀, 小川典子, 七瀬 美, ラニカ

初舞台14人も役柄に強くリンク



NAGOYAダイヤモンド「月の教室」

P.Tで上演された(3月22、23日)。同ユニットは、小熊ヒデジが指導する「名古屋演劇教室」受講者が1年の成果を披露する舞台。第17期の公演は、宮沢章夫が2001年に発表した青春群像劇。小熊が演出し、教室生16人が出演した。同級生だった夫婦が、過去を回想。舞台上には高校の教室で起こった様々な出来事が繰り広げられる。毎回、脚本を変えてきた同ユニットの初となる再演(前回は13年)。宮沢が新しい世代のリアルを捉え、彼らへの贈り物のように繊細に描いた本作は、小熊が若い俳優と共に舞台を紡ぎ出すダイヤモンドと実に親和性が高かった。

NAGOYAダイヤモンド「月の教室」がG/

出演者達がいつか熟練の俳優になっても、この日の空気感はきっと再現できないだろう。(竹本)

舞台批評

グリーン・エコー

東海地区を代表する合唱団グリーン・エコーが第65回演奏会（3月20日・愛知県芸術劇場コンサートホール）を開催した。ビートルズのポール・マッカートニーが作曲したオクトリオ（合唱とオーケストラによる大規模な宗教曲の演奏「心の翼」の日本初演とあって、ホールは4階席まで埋まった。

世界的に有名なミュージシャンとはいえ、クラシック音楽の作曲家ではないポールが、8年もの歳月をかけて完成させた間奏曲付き4楽章、60分の大曲である。共演は出口大地・指揮の名古屋

フィルハーモニー交響楽団、名古屋少年少女合唱団、ソプラノの木下美穂子、オルガンの石丸由佳。200人超えの大舞台になった。

「聖なる魂よ、愛することをお教えください。生きる方法を示してください」で始まる第1楽章に

「第2楽章後に演奏された間奏曲は、制作期間中に亡くなった妻リンドアへのオマージュである。オーボエの独奏と弱音のハミングが交錯し、美しい静謐（せきいつ）な響きがホールに満ちた。

溢れるポールの人生観と心の叫び



ポール・マッカートニー作曲「心の翼」(撮影・テス大阪) マーシューである。オーボエの独奏と弱音のハミングが交錯し、美しい静謐（せきいつ）な響きがホールに満ちた。

作詞、作曲、奏者すべてが◎



田裕也の「作曲個展」

ク、ムジカ」で始まる第3楽章だ。「音楽は宝物」「あなたの歌で私たちの道を照らしてください」ラトリオの誕生である。

田裕也の「作曲個展」(3月18日・電気文化会館)である。プログラムは時田の作品が6曲、ブルーノ・メッサーナ、ス作品が5曲で、奏者は時田を含めて8人。歌曲、ソナタ、協奏曲、いずれも小品で勝負する。最も印象に残ったのは野々村彩乃（ソプラノ）の深淵な歌唱。特に弱音

の美しさは格別で、日本語歌詞（作詞・山岸千代）も明瞭に響いた。そのほかオーボエの山本直人ら、ソリスト全員が充実した演奏を展開し、音楽の魅力を拡散した。

「死ねばいい曲だが、一番やりたかった曲。なるほど音楽のニュアンスが時田の曲に似ている。彼がフランスに大きな影響を受けたことが理解できた。」

「乙女の祈り」という曲名はともかく、メロディーはたいていの人が知っているはずだ。作曲したのはバダジェフスカ。19世紀ポーランドの女性ピアノリスト。彼女はこれ一曲でいつまでも世界の音楽史に名を残すだろう。

間奏曲

「野ばら」のウェルナー「クシコス・ポスト」のネッケはドイツ人。「金婚式」のマリ（フランス）、「チャルダッシュ」のモンティ（イタリヤ）「ペルシャ



いこの福代に演劇ペンクラブ賞 俳優のこの福代が「24年度名古屋演劇ペンクラブ賞」に選出され、3月25日、千種文化小劇場で「お喜ひのこの福代 右は俳優の上田定行（撮影・服部義安）」

受賞式が行われた。この日は、いこの指導、出演した朗読公演「名画劇場」の公演日で、表彰式は終演後、出演者や観客を交えて行われた。

私たちが「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します 青山 皆江 神谷久美子 中川 幸作 秋田昌子 北村 哲也 仲条 優理 荒川 洋子 工藤寿々弥 夏目 久子 飯田みち代 佐藤 典子 名鶴ひとみ 出田 光代 佐藤美智子 西川 長秀 伊藤 修 佐野 和美 野々山保治 伊藤 敬 澤脇 達晴 野村 祐子 伊藤 直樹 白樺 八青 花咲 市岡 稲垣 舞比 ぎととる 花柳 馨優 今村 早知 杉江 瑠美 林 雅仁 内田 寿菊 鈴木 幾子 福井 啓子 内田寿千代 鈴木久美子 淵本晴都子 内田 寿晴 鈴木 文雄 松波千津子 内田の千鶴 須山 仁美 松本 道子 内田のり美 角田真優美 見波 紀子 大寺 資二 高倉 麻耶 宮西 圭子 岡田 一男 武市 孝三 山口 雅子 岡崎 保彦 竹元まさ子 吉田 尚弘 小倉ひろこ 田淵友佳理 よしみゆこ 小野由加利 玉田 弘子 渡部 千枝 加藤 静子 つみあつき ほか 金澤 志保 手塚 淑子 蟹江 尾八 戸田美江子

演奏家育成塾記念コンサート
ベストソリスト賞第1位に世古藍
2位に大倉彰人、3位に天野世理



左から大倉彰人、世古藍、天野世理

名古屋演奏家育成塾コンサート第40回記念「ベストソリスト賞コンペティション」が3月23日、アートピアホールで開かれた。

第1位はピアノの世古藍（賞金30万円）、2位はヴァイオリンの大倉彰人（同20万円）、3位はハープの天野世理（同10万円）が選ばれた。



10人が趣向を凝らし演奏を披露

スタクラ・アカデミア5期生
10人が趣向を凝らし演奏を披露
最優秀は勝諒平（打楽器）

▽オーディエンス賞Ⅱ大倉彰人（ヴァイオリン）▽審査員特別賞Ⅱ松本陽輝（ヴァイオリン）▽入賞Ⅱ志村幸、佐藤愛（ピアノ）▽入選Ⅱ大竹かな子、足立真由、井上莉那（ピアノ）、高木琢矢（ヴァイオリン）、吉村咲良（クラリネット）

クラシックの若手演奏家を総合的に育成する「スター・クラシック・アカデミア」の第5期生10人が、8カ月の研修成果を発表するガラコンサートが3月28、30日、メニコンシアターAoiで開かれた。

死と生と混沌と... タンゴの愛 Astor Piazzolla アストル・ピアソラ オペリータ 木村 千尋 塚本 伸彦 蛭幸田 実里 河内 知子 ブエノスアイレスのマリア 2025 作詞：オラシオ・フェレール 7.25 Fri 開演 18:30 7.26 Sat 開演 15:00 Ticket 全自由席・税込 前売 4,000円/当日 4,500円 大学生以下 2,500円

会員募集 「ナゴヤ劇場ジャーナル」では発行をご支援いただけるサポート会員を募集しています。会費は年間6600円(税込)。会員には小紙を毎月お届けするほか、紙面に名前を掲載（希望者のみ）。会員の関係する公演、イベント情報を優先的に掲載させていただきます。 【お申し込み、お問い合わせ】 ㈱マネージメント・プロ TEL 052(508)5095 郵便振替口座 00880-6-206130

